

素材生産動向（概要）

－ 平成30年8月見通し －

平成30年8月20日

北海道森林管理局

（担当：資源活用第一課）

調査対象事業体数

	事業体数 (A)	調査対象数 (B)	回答数 (C)	回答率 (C)/(B)	該当する（総合）振興局
全道	525	283	206	73%	
札幌地区	112	68	52	76%	石狩、空知、胆振、日高
旭川地区	112	60	48	80%	上川、留萌、宗谷
北見地区	83	53	38	72%	オホーツク
帯広地区	150	53	32	60%	十勝、釧路、根室
函館地区	68	49	36	73%	渡島、檜山、後志

（注）事業体数(A)は、北海道林業事業体登録制度に基づき登録された林業事業体のうち、素材生産事業を実施している者。  
調査対象数(B)は、アンケート調査の結果により実質的に素材生産事業を行っていない者等を除いた数。

【8月の素材生産動向（概要）に対するコメント】

- ・「1.素材生産量」では、7月実績の206.2千m<sup>3</sup>と比べ、8月見通しは17.2千m<sup>3</sup>減の189.0千m<sup>3</sup>となっています。地区別では、すべての地区で減少の見通しとなっています。
- ・「2.素材生産量の増減」の比率では「増える」が31%、「変わらない」が35%「減る」が34%となっています。
- ・「3.素材生産動向」の全般的な動きでは、「順調」が26%、「並み」が62%、「不調」が12%となっており、順調な見通しとなっています。
- ・樹種別に見ると、広葉樹の一般材を除き、「順調」傾向の見通しです。
- ・「4.素材生産動向の事由」は、「通常の変動」以外では、増の事由として、前月同様に「丸太注文の増加」「生産性の向上」となっています。減の事由としては、「天候不順」に続き「事業地不足」「労働力不足」の事由が多くなっています。

1. 素材生産量

（単位：千m<sup>3</sup>）

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
素材生産量	[202.7] 206.2	189.0	-17.2	[46.4] 44.5	42.5	-2.0	[30.8] 37.7	34.7	-3.0	[52.8] 58.9	49.7	-9.2	[43.9] 43.3	43.1	-0.2	[28.8] 21.8	19.0	-2.8

（注）前月数量の、上段【 】書きは前月見通し、下段は調査回答のあった事業体の実績を記載。

2. 素材生産量の増減

（単位：%）

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
増える	29	31	2	33	35	2	25	23	-2	24	29	5	41	41	0	24	28	4
変わらない	37	35	-2	38	35	-3	43	42	-1	33	26	-7	29	31	2	39	42	3
減る	34	34	0	29	30	1	32	35	3	43	45	2	30	28	-2	37	30	-7

3. 素材生産動向

(1) 全般

(単位：%)

区分	全道			札幌地区			旭川地区			北見地区			帯広地区			函館地区		
	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差	前月	当月	差
極めて順調	7	4	-3	0	5	5	8	3	-5	6	3	-3	0	0	0	5	9	4
やや順調	19	22	3	20	19	-1	19	26	7	30	28	-2	13	18	5	17	13	-4
並み	60	62	2	68	65	-3	57	60	3	49	60	11	70	71	1	67	61	-6
やや不調	11	9	-2	9	8	-1	8	11	3	15	3	-12	13	11	-2	11	13	2
極めて不調	3	3	0	3	3	0	8	0	-8	0	6	6	4	0	-4	0	4	4

(注) 各区分に回答した事業者の構成比

(2) 樹材種

(単位：回答数)

区分	全道						札幌地区						旭川地区					
	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材
極めて順調	7	8	4	7	7	6	2	2	1	3	3	3	1	0	0	0	0	0
やや順調	25	28	11	24	27	24	6	6	3	5	6	4	5	11	3	4	7	9
並み	56	75	37	52	71	53	11	18	8	9	15	13	12	20	8	13	22	15
やや不調	8	9	11	2	5	6	1	1	3	0	0	0	2	2	4	1	1	1
極めて不調	3	1	6	2	0	4	0	0	3	0	0	1	1	0	2	1	0	1

(単位：回答数)

区分	北見地区						帯広地区						函館地区					
	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材	カラマツ一般材	トドマツ一般材	L一般材	カラマツ原料材	N原料材	L原料材
極めて順調	3	2	0	2	2	2	0	0	0	1	0	0	1	4	3	1	2	1
やや順調	6	6	3	7	7	5	6	3	2	6	4	4	2	2	0	2	3	2
並み	15	15	9	12	13	9	13	13	9	14	12	12	5	9	3	4	9	4
やや不調	1	2	2	0	2	2	4	1	2	1	0	1	0	3	0	0	2	2
極めて不調	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2

4. 素材生産動向の事由

(単位：回答数)

	丸太注文の増加	時間外など稼働率向上	体制充実	生産性の向上	通常の変動	その他		
数量の増	12	1	4	7	53	1		
	丸太注文の減少	事業地不足	労働力不足	運材車不足	機械の故障等不測の事態	天候不順	通常の変動	その他
数量の減	2	11	11	3	1	17	36	3

(注) 該当するものについて複数回答

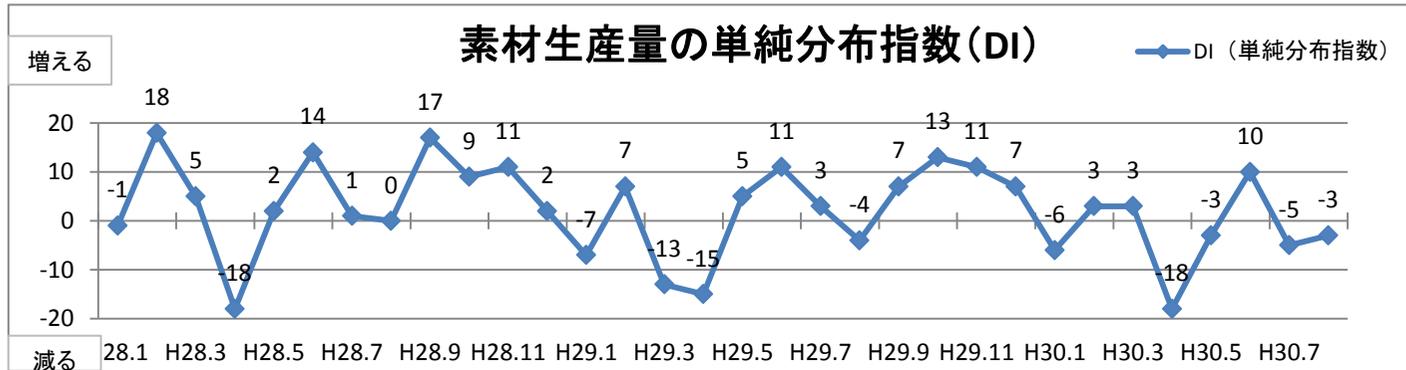
(参考)

平成30年8月

区分	有効回答数	構成百分率
増える	63	31%
変わらない	73	35%
減る	70	34%
合計	206	100%

素材生産量の単純分布指数 (DI)  
 $= (31\%) - (34\%)$

有効回答数とは、前月との比較が可能な事業体数



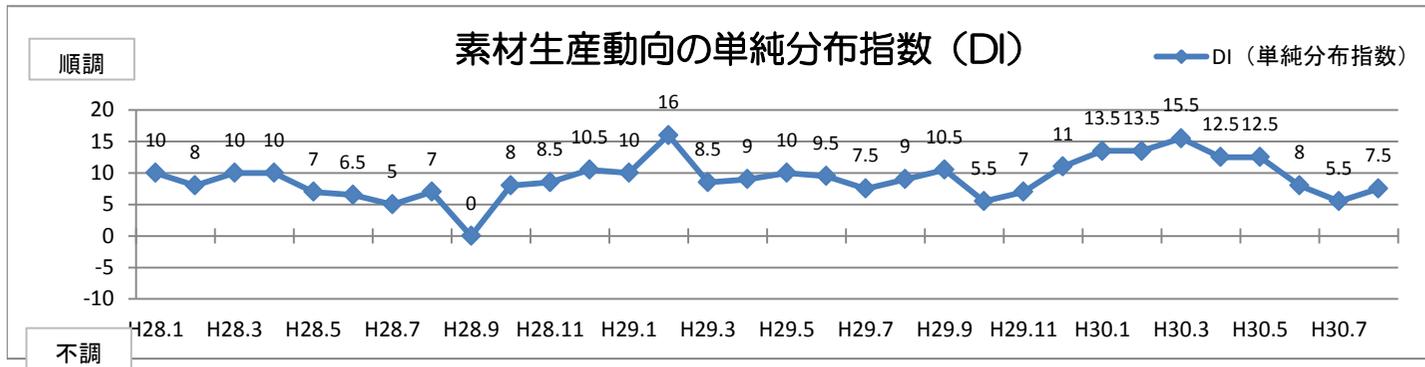
※「素材生産量の単純分布指数 (DI)」とは

アンケート調査の回答においてプラス (増える) 見通しとマイナス (減る) 見通しの事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

平成30年8月

区分	有効回答数	構成百分率
極めて順調	6	4%
やや順調	34	22%
変わらない	100	62%
やや不調	14	9%
極めて不調	4	3%
合計	158	100%

素材生産動向の単純分布指数 (DI)  
 $= \{ (4\% \times 2) + 22\% \} - (9\% + (3\% \times 2)) \div 2$



※「素材生産動向の単純分布指数 (DI)」とは

アンケート調査の回答においてプラス (極めて順調、やや順調) の選択肢とマイナス (やや不調、極めて不調) の選択肢を選んだ事業体のバランスの変化を捉えるためのものです。

【国有林からのお知らせ】

【平成30年7・8月期販売結果及び平成30年8月期販売について】

○平成30年度（立木の部）

(単位：㎡,円)

地区別	署別	7・8月期立木販売(公売)結果						8月期立木販売(公売)		
		【主伐】			【間伐】			主伐 間伐別	数量	入札日
		公売数量	落札数量	単価	公売数量	落札数量	単価			
札幌	石狩									
	空知							間	3,014	8/23
	胆振東部							主	5,839	8/24
	日高北部									
	日高南部	80	80	462	1,286	1,286	3,381	主・間	7,918	8/28
旭川	北空知	1,638	1,638	4,376						
	留萌北部									
	留萌南部									
	上川北部									
	宗谷				7,842	7,842	983			
	上川中部									
北見	上川南部	8,237	5,146	2,507	1,784	0				
	網走西部	3,275	3,275	2,346				間	2,874	8/22
	西紋別	3,658	0		2,513	0		間	3,674	8/22
	網走中部	4,728	4,728	5,700	8,991	6,419	4,676	主・間	19,859	8/22
	網走南部	13,200	11,573	3,617	7,566	7,566	1,823	主・間	16,017	8/22
帯広	根釧西部				4,789	4,789	1,601	間	32,583	8/23
	根釧東部	797	797	1,719	10,177	0		主・間	11,765	8/23
	十勝東部				6,534	0		主・間	8,080	8/21
	十勝西部	1,485	1,485	1,422						
	東大雪				2,632	2,632	978	間	2,901	8/21
函館	後志	4,901	4,901	3,347	2,071	2,071	908			
	檜山	10,064	5,695	2,195						
	渡島				5,201	5,201	1,763			
計		52,063	39,318		61,386	37,806			114,524	

○平成30年度（素材の部）

(単位：㎡)

地区別	署別	8月期(委託)	
		素材委託 販売数量	入札日
札幌	石狩		
	空知	2,017	21日(火)
	胆振東部		
	日高北部	2,498	
	日高南部	331	
北空知	161		
旭川	留萌北部		20日(月)
	留萌南部		
	上川北部	714	
	宗谷	108	
	上川中部	1,121	
	上川南部		
北見	網走西部		22日(水)
	西紋別	3,306	
	網走中部	629	
	網走南部	886	
帯広	根釧西部	3,671	21日(火)
	根釧東部	248	
	十勝東部	2,195	
	十勝西部	99	
	東大雪	930	
函館	後志	1,352	23日(木)
	檜山	3,046	
	渡島	1,277	
計		24,589	

※上記詳細については、北海道森林管理局ホームページ「国有林野産物の公売公告及び結果（立木の部・素材の部）」をご覧ください。

アドレス：[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood\\_ryuuboku/ind](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_ryuuboku/ind)（立木の部）

アドレス：[http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood\\_soza/index.h](http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/koubai/wood_soza/index.h)（素材の部）

※「素材生産の動向（概要）」及び「道内の木材需給の見通し」は、北海道森林管理局ホームページのキーワード「素材生産動向の状況把握の取り組み」からご覧下さい。